



稲葉さんに質問

札幌市内の石岡芽生さん(新陵東小6年)、田之島菜さん(開成小6年)、鎌田康平君(前田北小5年)、湯沢澤央さん(日新小5年)とともに、稲葉篤紀さん(42)へ選手時代の思い出や普段の生活について質問しました。

(石丸厚子)

—ファイターズ時代に印象に残っている試合は。

「2006年のプレーオフ(今のクライマックスシリーズ)で、リーグ優勝を決めたソフトバンク戦です。九回裏2死一、二塁でぼくが内野安打を放ち、1-0で勝った。チーム全員があきらめず全力疾走したこの試合が、ファイターズの土台をつくったような気がします」

—ダルビッシュ有選手と大谷翔平選手はどちらがすごい？

「どちらもすごいね。ダルビッシュ選手は野球センスの良さに加え、筋肉や食事、トレーニング方法について熱心に勉強します。大谷選手は投打ともすばらしい。両立する体力がつけばもっと進化するでしょう」

—好きな食べ物。

「ハンバーグ。実は、お子様ランチのおかずみたいな料理が好きなんです」

—家ではどんなお父さんですか。

「仕事のため、あまり子どもと過ごせないのですが、家にいる時はいっぱい遊ぶんです。ぼくの父と同じように、いざという時たよれるお父さんになりたい」

「自然がゆたかな北海道が大好き。子育てするにも良いですよね」と話す稲葉さん

大谷選手 もっと進化するよ

い遊びます。ぼくの父と同じように、いざという時たよれるお父さんになりたい」

—もしファイターズのかんとくになつたら、どんなチームにしたいですか。

「相手を0点におさえながら1点を取り、守りきる試合がいつもできるような方がいい。そんなチームをつくりたいな」

◇
稲葉さんの小学生のころの思い出や、選手生活について聞く連載「いつでも全力疾走」を、14日から3回けいさいます。

ハンバーグ
大好き

たよれる
お父さん目標

30日にスペシャルトーク

「週刊まなぶん」の創刊記念親子イベント「稲葉篤紀さんスペシャルトーク」を30日、道新ホール(札幌市中央区大通西3)で開きます。

午前10時半からと午後2時からの2回

で、対象は道内の小学生(保護者をふくむ1組3人まで)。定員は各回700人で参加無料。応募ははがきやメールで、しめ切りは13日の消印まで有効。くわしくは北海道新聞のホームページ(www.hokkaido-np.co.jp)で。

いなば・あつり 72年、愛知県生まれ。中京高校(今の中京大・中京高)、法政大を経て、95年にヤクルト入団。05年に日本ハムに移籍した。ヤクルト時代をふくめ7度のリーグ優勝、4度の日本一を経験。07年には首位打者と最多安打にがやき、12年に通算2千安打を達成。14年シーズンで現役を引退し、現在は球団の社会こうけん活動を担う。